

3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている

① 文化財の保存・活用

現状と課題

- 高岡市には、長い歴史の中ではぐくまれてきた、国宝瑞龍寺を中心とする多くの有形・無形の文化財があり、積極的な保存・活用が求められています。また、市内には数多くの遺跡が点在しており、これらの遺跡の調査・研究を進めるとともに、開発により消滅のおそれのある遺跡についての記録の保存に努めています。
- 文化財を中心とした歴史的風致や歴史的景観を保全するため、文化財とその周辺環境を一体とした保存・活用に努める必要があります。
- 市民の主体的な参加のもと積極的に文化財の保存・継承・活用を図り、文化財を活かしたまちづくりを推進することが求められています。また、「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産^{※1}登録を目指し、その価値や文化財をさらに磨く活動を続ける必要があります。

施策の展開

文化財の保存・活用とその周辺環境一体での保護

- 「高岡市歴史文化基本構想」に基づき文化財の保存・管理計画を作成します。
- 「高岡市歴史文化基本構想」や「高岡市歴史まちづくり計画（高岡市歴史的風致維持向上計画）」に基づき、文化財の保存・活用とあわせて、その周辺の歴史的景観の保護や公共空間の整備に努めます。

文化財の魅力の発信

- 日本遺産に認定された歴史・文化資産の魅力を国内外に発信し地域の活性化を図ります。

※1

1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて、世界遺産リストに登録された遺跡や景観そして自然など、人類が共有すべき普遍的な価値をもつものを指す。文化遺産は、すぐれた普遍的価値をもつ建築物や遺跡などである。

国宝・重要文化財の保存・活用

- 重要文化財「勝興寺」の保存・修理事業の推進とその活用に努めます。
- 国宝「瑞龍寺」、重要文化財「菅野家住宅」・「武田家住宅」・「佐伯家住宅」・「氣多神社」など建造物の保存・活用に努めます。

「高岡御車山」等の保存・活用

- 重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」などの保存・修理のため、技術者の育成・確保及び技術の向上・継承に努めます。
- 国名勝「おくのほそ道の風景地―有磯海―」の保存・管理・活用に積極的に取り組み、その魅力の発信に努めます。
- 民俗文化財や工芸品、天然記念物などその他の文化財の保存・活用を図ります。また、文化財標識等の設置及び修繕を進めます。

伝統技術の保存・継承

- 金工、漆工、木工、菅笠などの伝統技術及びそれに必要な道具や材料の作製・育成・採取の技術を保存するため、後継者育成・技術の記録保存などの保存活動を支援します。
- 伝統技術の保持者や保存団体の文化財の指定等を進めます。

伝統的な町並みや町家の保存・活用

- 重要伝統的建造物群保存地区「山町筋」と「金屋町」については、保存活用計画に基づき、地区内の建造物の修理・修景事業や環境整備を進めます。
- 重要伝統的建造物群保存地区選定を目指す吉久地区などの歴史的な町並みや歴史的建造物の調査・保存・活用を進めます。

前田家関連史跡の調査・保存・活用

- 加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）、高岡城跡の計画的な保存整備を実施します。
- 守山城跡等の史跡を調査し、学術的な価値を高めるとともに、整備方針の検討を進めます。
- 木舟城跡等の史跡の保存・活用について研究を進めます。

埋蔵文化財の調査・研究・活用

- 遺跡の発掘調査を実施して記録・保存するとともに、調査成果について研究を進めます。
- 文化財の理解を深めるため、現地説明会等の開催により、情報提供に努めます。
- 埋蔵文化財センターの整備を進め、埋蔵文化財の広報・普及に努めます。

世界文化遺産登録に向けた取り組み

○「近世高岡の文化遺産群」の有形の世界文化遺産登録を目指し、その価値や文化財をさらに磨く活動を続けます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
歴史・文化施設入込者数※	1, 175, 372 人/年	1, 121, 000 人/年

※歴史・文化施設（瑞龍寺、勝興寺、土蔵造りのまち資料館、
鋳物資料館、伏木気象資料館、古城公園、御車山会館）

主な事業	
文化財の保存・活用とその 周辺環境一体での保護	・ 指定文化財等の維持管理、保存修理 ・ 古文書の解読・調査、講座の開催
国宝・重要文化財の保存・ 活用	・ 瑞龍寺・勝興寺の保存修理 ・ 勝興寺所蔵文化財のデジタルアーカイブ化
伝統的な町並みや町家の保 存・活用	・ 山町筋・金屋町重要伝統的建造物群保存地区内 の建造物の修理・修景 ・ 金屋町における防災施設等の整備
前田家関連史跡の調査・保 存・活用	・ 前田利長墓所の整備 ・ 守山城跡等の詳細調査 ・ 高岡城跡整備基本計画の策定、計画に基づく整 備事業
埋蔵文化財の調査・研究・ 活用	・ 開発等に伴う発掘調査の実施
世界文化遺産登録に向けた 取り組み	・ 世界文化遺産登録活動の推進

3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている

② 歴史的風致の保全・活用

現状と課題

- 市内には歴史的な町並みや歴史的建造物が数多く残っています。また、歴史と伝統を反映した工芸技術が受け継がれ、地域固有の祭礼・年中行事が今も営まれていることと相まって、「高岡らしい」風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。
- これらの歴史的風致を市民共有の財産として捉え、今後さらに高岡の個性を磨き、魅力を高めていくため、地区住民や市民を核として、行政・事業者などが一体となって、保存と活用に総合的・積極的に取り組む必要があります。

施策の展開

歴史的風致の維持向上

- 山町筋、金屋町、吉久、伏木みなと町、勝興寺寺内町、旧北陸街道沿いの町並みなどを「歴史まちづくり計画」における重点区域とし、計画に掲げる歴史的建造物の修理とその周辺環境整備などの事業を重点的かつ一体的に進めます。

町民文化の保存・継承と活用

- 歴史と文化のまち高岡に存在する多くの歴史・文化資産を磨き、日本遺産に認定された「高岡の町民文化」の保存・継承、国内外への発信に努めるとともに、市民や観光客がまちなかを楽しく歩いて回遊できる仕組みをつくりまします。

まちづくり指標		
指標名	基準値(H27)	目標値(H33)
建築物等の修景実績件数（累計）	3 件	15 件※

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
歴史的風致の維持向上	・ 景観形成重点地区等における建物修景等の助成、景観形成市民団体に対する支援 ・ たかおかストリート構想に位置付けたルートの整備
町民文化の保存・継承と活用	・ 日本遺産の魅力発信等に向けた活動の推進

4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている

① 地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成

現状と課題

- 市民の芸術・文化活動は、多種多様な分野で幅広く展開されています。また、万葉のふるさとづくりなど高岡固有の歴史・芸術・文化を活かした活動も活発に行われています。その活動を相互に連携させ、交流促進を図ることで、新しい文化の創造に結びつけていくことが求められています。
- 高岡市の文化施設の中には、博物館や市民会館など、老朽化したものもあり、市民の芸術・文化創造の拠点となるようソフト・ハード両面からの充実が求められています。

施策の展開

芸術・文化活動の支援

- 地域で育まれた伝統文化を継承する芸術文化団体等と連携しながら、芸術文化活動の充実に努めます。また、高岡市民文化振興事業団等において文化振興策としての事業の実施を図るとともに、市民の創作活動や発表の場の提供に努めます。

文化施設の有効活用と整備

- 美術館、博物館、万葉歴史館、市民会館、ふくおか総合文化センター、ミュゼふくおかカメラ館などの施設整備や展示物などの充実に努めるとともに、文化・研究・調査活動の充実を図り、市民が気軽に文化に親しむことができるよう文化施設の利用を推進します。
- 土蔵造りのまち資料館、鋳物資料館、伏木北前船資料館、伏木気象資料館、雅楽の館など施設の特徴を活かした展示会の開催により、文化の薫り高いまちづくりに努めます。
- パブリックアートを活用し、賑わい、楽しさ、やすらぎ、うるおいのある魅力的な都市空間の創出のために、物語性のある、歩いて楽しいまちづくりに努めます。
- 創造的な活動に携わる市民が集い、交流し、クリエイティブな発想を誘発する仕掛けとして「創造の場」のあり方を検討するとともに、その形成に努めます。

○高岡市美術館の2階に開設した「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」では、日本を代表する漫画家 藤子・F・不二雄氏の原点であるふるさと高岡から、ここにしかないアートギャラリーとして、氏のメッセージや世界観の発信に努めます。また、市内に点在する関連スポットやドラえもんトラム等を一体化させる取り組みを行い、「ドラえもんに会えるまち」として、新たな魅力の発信に努めます。

万葉のふるさとづくり

- 万葉まつりや高岡万葉遊楽宴事業、万葉歴史館の取り組みなどを通し万葉のふるさと高岡を全国にPRし、万葉のふるさとづくりを推進します。
- 万葉歴史館において、万葉の研究を一層進め、その成果を全国へ発信します。
また、各地の万葉愛好団体等との交流を図り、万葉故地ネットワークづくりを進めるとともに、全国レベルの学会等の誘致に努めます。
- 万葉に関する講座など市民の万葉学習の振興を図るとともに、学校教育の場でも万葉歴史館による出前教室の実施や越中万葉かるたを活用した学習活動に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
「TAKAOKA まちも、ものづくりも、ライバルはご先祖様。」文化創造都市HPアクセス数	H28 開始	30,000 件/年
高岡市万葉歴史館の入館者数	24,290 人/年	30,000 人/年

主な事業	
芸術・文化活動の支援	・文化創造都市高岡推進事業の推進 ・「創造の場」のあり方の検討
文化施設の有効活用と整備	・ドラえもんトラム運行関連事業等に対する支援 ・高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの運営
万葉のふるさとづくり	・万葉普及事業や舞台芸術鑑賞事業などの万葉遊楽宴事業の推進 ・大伴家持生誕 1300 年記念事業